

## 議事録（概要版）

### I 開催概要

- 1 会議の名称 平成30年度 第1回新潟市立中央図書館協議会
- 2 開催日時 平成30年6月27日（水）午後2時から午後4時まで
- 3 開催場所 中央図書館3階 多目的ホール
- 4 出席者
  - (1) 委員 宮下壽雄会長，武田早苗副会長，秋山貴子，足立幸子，小笠原露子，小田智子，齋藤祐介，高橋明，水野謙一，脇屋淳子（10名）
  - (2) 事務局 古俣教育次長，大井館長，新井田館長補佐，辰口館長補佐，山下館長補佐，三條主任，餅谷主幹，川崎主幹，高橋係長，山田係長，川上館長，西脇，榎並，太田
- 5 傍聴者 なし

### II 次第

- 1 開会
- 2 委嘱状交付
- 3 教育次長あいさつ
- 4 委員自己紹介
- 5 職員自己紹介
- 6 議事
  - (1) 会長・副会長の選出について
  - (2) 報告事項
    - 1) 新潟市立図書館の現状と平成30年度予算及び事業計画について
    - 2) もっと身近な図書サービスについて
      - ・団体貸出制度を活用し地域にミニ図書館を
    - 3) 新潟市立図書館雑誌カバー等広告事業について
    - 4) 図書館協議会と図書館ビジョン評価について
  - (3) 協議事項
    - 1) 図書館における高齢者サービスについて
- 7 閉会

### III 主な意見・質問等

- 1 議事（2）報告事項関連
  - 2) もっと身近な図書サービス（団体貸出）について
    - <小笠原委員>  
民間の書店に図書館の本を置いているということであるが，どのような活動か。
    - <事務局>  
新潟駅の中の「そだたべbooks」で，水と土の芸術祭関連の本を30冊置いている。展示として8月半ばくらいまで設置している予定である。

<宮下委員>

書店に置くことについて、書店及び市民の感想・反応はいかがか。

<事務局>

まだそこまでの情報は得られていない。

<小笠原委員>

新潟大学医歯学総合病院の「海のみえる図書館」でボランティアをしているが、ほとんどが寄贈本であり、本当の文学書はあまりない。そういうところで団体貸出は可能か。

<事務局>

運営主体側の判断に依るが、利用は可能である。

### 3) 新潟市立図書館雑誌カバー等広告事業について

<高橋委員>

予算が厳しい中、良いことだと思うが、もう一步踏み込んで、ほんぽーとのネーミングライツは考えていないのか。

<事務局>

検討している状況にはないが、財源が厳しいという中で話題に出たことはある。

<水野委員>

資料購入費は昨年に比べ1,700万円の減になっているが、図書の選定はどうなっているのか。雑誌・文庫でどのくらい購入を抑えるかというデータはあるのか。

<事務局>

削減の影響は単純計算で約7,700冊程度になる。毎週1回の選書会議で効率的・効果的な選書や購入数を工夫しながら購入し、市民の方たちの不利益にならないようがんばっている。

### 4) 図書館ビジョン評価について

<齋藤委員>

郷土・行政資料というのはけっこう貸出禁止の本がある。貸出冊数の統計を取るとき、レファレンスの一環で郷土資料を閉架書庫の中から取り出してきた本の数なども取ってみると、案外あるのかと思う。貸出数が少ないから予算削減されるというのは良くないため考えていただきたい。

<事務局>

検討していきたい。

<宮下委員>

団体貸出が増えて、そこからの又貸しなどで本の活用が増えても、今の統計の取り方では、図書館全体の貸出冊数には反映されない危惧があるが。

<事務局>

団体貸出が増えることで、新潟市のいろいろな場所で本に出会う機会が多くなる。団体貸出の冊数のカウントも評価してもらえると良いと考える。

1 議事（3）協議事項関連

1) 図書館における高齢者サービスについて

<高橋委員>

車を持っていなかったり、足が不自由などの理由で図書館に行けない高齢者の方を、近所の方が図書館へ行くときについでに連れていけるようなボランティアシステムの構築ができないか。

<小笠原委員>

身近な地区図書室について、もう少し環境を整えることにも力を入れてほしい。

<事務局>

実現できることは何なのか、よく研究していきたい。